

慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科 同窓会研究教育奨励基金による矢上賞について

1 慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科 同窓会研究教育奨励基金とは

同基金は、理工学部同窓会が同学部の前身である藤原工業大学設立 60 周年記念事業として行った、2000 年理工学部記念募金活動の寄付金によって創設されました。卒業後社会で顕著な活躍をしている工学部・理工学部ならびに大学院工学研究科・理工学研究科の同窓生のうち毎年 5 名程度に矢上賞を贈り、受賞者による講演会を開催しています。

2 歴代の受賞者（氏名、卒年および卒業学科、所属（受賞当時）、受賞理由）

< 2001 年度 >

1. 富田 洋 氏（ 77 年・応用化学科卒、ジオ・サーチ（株））
「人道上の目的による地雷の除去活動」
2. 野田 晴義 氏（ 80 年・管理工学科卒、日本アイ・ピー・エム（株））
「日本語大語彙連続音声認識の実用化」
3. 中村 直 氏（ 77 年・機械工学科卒、日本鋼管（株））
「廃棄物のガス化溶融炉の技術開発・実用化」
4. 村井 純 氏（ 79 年・数理工学科卒、慶應義塾大学環境情報学部）
「インターネット通信の発展と普及に対する貢献」
5. 日比谷 孟俊 氏（ 69 年・応用化学科卒、日本電気（株））
「光アイソレータ材料の開発、半導体単結晶育成技術の開発等」

< 2002 年度 >

1. 味戸 慶一 氏（ 80 年・応用化学科卒、明治製菓（株））
「大環状構造を有する抗生物質を中心とした抗感染症薬ならびに循環器用薬を中心とした薬理製剤の合成創薬とプロセス化学」
2. 飯村 洋一 氏（ 81 年・応用化学科卒、エーザイ（株））
「アルツハイマー型痴呆治療薬として全世界で販売されている塩酸ドネペジルの化学合成を行った業績（英国ガリアン賞、日本薬学会技術賞、化学・バイオつくば賞を受賞）」
3. 高橋 文明 氏（ 73 年・機械工学科卒、NASA Glenn Research Center）
「航空宇宙工学を中心にした燃焼工学の研究を続けており、本塾理工学部に関連して、燃焼工学分野の米国との懸け橋として多大の貢献をしている」
4. 宮本 博幸 氏（ 74 年・電気工学科卒、千葉工業大学情報科学部）
「日仏文化、技術交流に貢献、フランス政府より教育功労章シュヴァリエ位を受章」

< 2003 年度 >

1. 緑川 克美 氏（ 78 年・電気工学科卒、理化学研究所）
「コヒーレント軟 X 線光源の開発」
2. 成井 啓修 氏（ 85 年・電気工学科卒、ソニー（株））

- 「光学ピックアップ用半導体レーザ結晶作製技術の開発」
3. 山口 修 氏 (85 年・化学科卒、花王(株))
「衣料用洗剤、住居用洗剤の開発」
 4. 牧 敦 氏 (88 年・機械工学科卒、(株)日立製作所)
「脳内酸素量の測定についての技術開発」
 5. 河原林 健一 氏 (98 年・数理科学科卒、プリンストン大学)
「離散数学、グラフ理論の研究」

< 2004 年度 >

1. 坂村 健 氏 (74 年・電気工学科卒、東京大学大学院情報学環)
「トロンプロジェクトリーダー。ユビキタスコンピューティング環境の提唱とシステム開発」
2. 茶園 広一 氏 (83 年・応用化学科卒、太陽誘電(株))
「薄層大容量積層セラミックコンデンサの開発」
3. 富田 勝 氏 (81 年・数理工学科卒、慶應義塾大学環境情報学部)
「ヴァーチャル細胞の研究」
4. 宮本 智子 氏 (84 年・電気工学科卒、世界知的所有権機関(WIPO))
「世界知的所有権機関(WIPO)における特許制度の国際的調和活動への貢献」
5. 安田 涼平 氏 (94 年・物理学科卒、Cold Spring Harbor Laboratory(米国))
「蛋白質 1 分子計測技術の確立と展開を通じて、最小の分子モーターである F1-ATPase の回転運動メカニズム解明に貢献」

< 2005 年度 >

1. 小川 理子 氏 (86 年・電気工学科卒、松下電器産業(株))
「音響心理、音響生理を基礎とした音響機器の研究開発に従事(製品のひとつである楽器型のスピーカがニューヨーク近代美術館に永久展示)する一方、プロのジャズピアノストとして活躍する」
2. 大熊 毅 氏 (85 年・化学科卒、北海道大学大学院工学研究科)
「独自の新しい切り口から研究を進め、野依良治教授のノーベル賞受賞につながる研究に貢献した。また、その研究は実用性にも優れ、医薬や香料の合成プロセスで実用化されている」
3. 寒川 誠二 氏 (81 年・計測工学科卒、東北大学流体科学研究所)
「我が国の半導体デバイス開発の中心となり、今後の超微細加工時代に不可欠な技術を先導し続けている」
4. 笹井 宏明 氏 (80 年・応用化学科卒、大阪大学産業科学研究所)
「生物活性物質の合成や新しい概念に基づく新規反応の開発で多くの業績を挙げる」
5. 藤井 賢一 氏 (82 年・機械工学科卒、産業技術総合研究所)
「計量標準にかかわる研究(アヴォガドロ定数の決定)」

< 2006 年度 >

1. 瀬尾 育式 氏 (73 年・電気工学科卒、東芝メディカルシステムズ(株))
「血流状態の体内断層画像表示をリアルタイムに可能とする超音波血流イメージング装置の開発」
2. 春山 富義 氏 (73 年・電気工学科卒、高エネルギー加速器研究機構)
「低温液体キセノン粒子検出器用パルス管冷凍機の開発」
3. 中川 和明 氏 (84 年・応用化学科卒、(株)東芝)
「CO₂の吸収材として高温域で使えるリチウム複合酸化物を発見。
地球温暖化など環境保全への寄与が大きい」
4. 掛谷 秀昭 氏 (89 年・化学科卒、理化学研究所)
「天然物化学を基盤としたケミカルバイオロジー研究」
5. 梅田 望夫 氏 (83 年・電気工学科卒、ミュージアソシエーツ)
「シリコンバレーに本拠を置く情報系企業のコンサルタントとして顕著な活動を展開
ベンチャーを目指す若者の支援を通じてオピニオンリーダー的な役割を果たしている」

< 2007 年度 >

1. 小山 俊太郎 氏 (70 年・機械工学科卒、電源開発(株))
「石炭ガス化技術に関する研究開発に携わり、地球温暖化防止対策および水素エネルギー
活用の面で大きな貢献が期待されている」
2. 下高原 正人 氏 (77 年・管理工学科卒、陶芸家)
「数千種の釉薬を調合、薩摩焼の蛇蛸釉で 250 年前の美しさを目指し独力で蘇らせ、
さらに発展させている」
3. 西野 均 氏 (82 年・数理工学科卒、日本アイ・ビー・エム(株))
「IC タグシステムの研究開発に携わり、物流や生産現場での効率化につながる技術推進
に大きく貢献している」
4. 熊谷 寛 氏 (85 年・電気工学科卒、大阪市立大学)
「シリコン原子のレーザー冷却に必要な深紫外コヒーレント光源の開発に成功し、
半導体工学の分野に著しい技術革新をもたらした」

< 2008 年度 >

1. 横溝 陽一 氏 (77 年・機械工学科卒、(株)ローソン)
「サプライチェーンマネジメント(SCM)手法における企業業務改革に理工学思想からの『エ
ンジニアリング・アプローチ』を提唱し、その実績により大きな社会貢献を果たしている
こと」
2. 岡 貞治 氏 (85 年・計測工学科卒、横河電機(株))
「高速回路向けの化合物半導体プロセスの研究開発を担当し、独自の InP HBT (インヅムリ
ハトパ 体-トランジスタ)を開発し、世界に先駆けて 40G デバイス・通信装置や超高速光スイッ
チ・光パケット装置の開発に成功したこと」
3. 和田 学明 氏 (86 年・電気工学科卒、松下電器産業(株)パナソニックAVCネットワークス社)
「放送用カメラの研究開発に従事し放送業界に貢献してきたこと」

4. 本間 徹 氏 (89 年・管理工学科卒、経済協力開発機構(OECD))

「開発途上国における技術協力の現場を中心に活躍しており、特にアフリカと東南アジアにおける民間セクター開発(中小企業振興、貿易投資環境整備)分野の国際協力を多大な貢献を果たしていること」

5. 湯浅 新治 氏 (91 年・物理学科卒、産業技術総合研究所)

「トンネル磁気抵抗効果(TMR)に関する学理を究明し、それを高機能エレクトロニクス素子として実用化した功績」

< 2009 年度 >

1. 持丸 正明 氏 (88 年・機械工学科卒、(独)産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター)

「人間工学基礎基盤技術開発とその応用」

2. 野本 和正 氏 (89 年・物理学科卒、ソニー(株)先端マテリアル研究所)

「有機トランジスタ駆動フレキシブルディスプレイの先端的研究開発」

3. 佐々木 達也 氏 (83 年・電気工学科卒、日本電気(株)ナノエレクトロニクス研究所)

「光ファイバ通信用の高機能半導体レーザ・光集積素子の独創的な作製方法を考案し、学会のみならず産業界にも高いインパクトを与えて技術の発展に貢献したこと」

4. 中村 真 氏 (92 年・物理学科卒、京都大学大学院理学研究科)

同受賞者 長谷川厚志氏(89 年・計測工学科卒)、千葉信一郎氏(90 年・機械工学科卒)、高橋繁樹氏(96 年・物理学科卒)

「マッキンリー山頂に設置した気象観測機器の開発と山頂への設置への寄与」

5. 吉本 和彦 氏 (70 年・管理工学科卒、(株)CSK - IS)【功労賞】

「富士銀行、みずほ銀行、日本郵政公社の CIO を歴任し、日本の代表的な大型システムを、時代毎の最新 IT を駆使して厳しい制約とリスクに対応、成功裏に構築・稼働させたこと」

6. 平林 義彰 氏 (66 年・応用化学科卒、(株)常栄)【功労賞】

「40 年間の化学実験への貢献をはじめとする塾内外での不断の教育活動」

< 2010 年度 >

1. 浦 直樹 氏 (84 年・計測工学科卒、横河電機(株)IA 事業部システム事業センター)

「石油ガス井戸元設備を効率的に運用できる制御システムの開発に大きく貢献したこと」

2. 高嶋 哲夫 氏 (73 年・機械工学科卒、作家)

「最先端の科学知識をベースにした最も旬なミステリー作家」

3. 星出 彰彦 氏 (92 年・機械工学科卒、(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙飛行士)

「日本人初の宇宙実験室・日本実験棟「きぼう」の組み立て」

< 2011 年度 >

1. 高原 修 氏 (98 年・機械工学科卒、三菱電機(株)先端技術総合研究所)

「高精度観測衛星の観測精度予測評価技術の開発に多大なる貢献を果たし、さらなる技術の向上が期待される」

2. 戸谷 希一郎 氏 (97 年・応用化学科卒、成蹊大学理工学部物質生命理工学科)

「合成化学的手法により糖タンパク質品質管理機構の分子基盤を初めて解明し、その成果

は国内外で高い評価を受けている」

3. 石井 順太郎 氏 (91 年・物理学科卒、(独)産業技術総合研究所)
「赤外線式体温計校正用の国家標準器を開発し国際的な高精度標準供給体制の確立に貢献した」
4. 沼居 貴陽 氏 (83 年・電気工学科卒、立命館大学理工学部電気電子工学科)
「光通信・情報処理用光機能デバイスの開発において大きな成果を挙げ、電子工学分野の教育の発展に寄与した」
5. 湯本 潤司 氏 (79 年・電気工学科卒、NEL America ,Inc.)
「研究開発マネジメントに従事し最先端光デバイスの国際的な事業化を通じて社会貢献を果たしている」
6. 神部 信幸 氏 (74 年・計測工学科卒、米国 Phoenix Venture Partners)
「自らの基礎研究の成果に基づき米国にベンチャー企業を設立しそれを大きな成功に導いた」

< 2012 年度 >

1. 世木 寛之 氏 (94 年・物理学科卒、日本放送協会放送技術研究所)
「NHK ラジオ第二放送の番組「株式市況」を肉声と変わらない高品質な合成音で実現し、番組の時間尺に確実に収まる音声合成システムを開発した」
2. 森本 典繁 氏 (87 年・電気工学科卒、日本アイ・ピー・エム(株))
「グローバルプロジェクトや研究開発の変革をリードした経験と知識を生かし、多くの製造業の研究開発マネジメントの革新、啓蒙活動や人材育成に貢献した」
3. 浅井 章良 氏 (87 年・応用化学科卒、静岡県立大学大学院薬学研究科)
「生体高分子を制御する機能性低分子の開発において大きな成果を挙げ、製薬研究者育成のための大学院教育に寄与した」
4. 波多野 睦子 氏 (83 年・電気工学科卒、東京工業大学大学院理工学研究科)
「電子物理学の分野で幅広い研究業績をあげ、男女共同参画の社会活動および学会活動において貢献した」
5. 福間 雅夫 氏 (72 年・計測工学科卒、一般社団法人半導体産業研究所)【功労賞】
「国際的リーダーシップを発揮し、半導体産業の発展を先導した」
6. 斉藤 道雄 氏 (69 年・機械工学科卒、学校法人明晴学園)【功労賞】
「理工学のリテラシーを活かした科学ジャーナリストとして活躍し、学校法人明晴学園の確立と運営により、ろう教育支援に大いに貢献した」

< 2013 年度 >

1. 遠藤 謙 氏 (01 年・機械工学科卒、ソニーコンピュータサイエンス研究所)
「ロボット義足技術における多大な貢献」

2. 高橋 雄一郎 氏 (91 年・電気工学科卒、高橋雄一郎法律事務所)
「理工学と法務の高度な専門知識に基づいた最先端科学技術の知的財産権保護に対する貢献」
3. 鬼島 靖典 氏 (89 年・計測工学科卒、ソニー(株))
「有機 EL の基礎研究および事業化に関わる研究開発と学会活動をとおした同分野・業界への貢献」
4. 谷村 吉隆 氏 (84 年・計測工学科卒、京都大学大学院理学研究科化学専攻)
「理論物理を用いて化学反応のレーザー分光学的研究手法を提案し、その後の実証実験と展開を先導したこと」
5. 高田 宗彦 氏 (83 年・機械工学科卒、サントリービジネスエキスパート(株))
「ペットボトルのメカニカルリサイクルを実現し、我が国の環境技術に貢献したこと」

< 2014 年度 >

1. 山田 隆 氏 ('86 年・応用化学科卒、日鉄住金マイクロメタル(株))
「LSI 用新型高機能銅ボンディングワイヤの開発」
2. 出町 公二 氏 ('82 年・電気工学科卒、横河電機(株))
「産業オートメーションの国際標準における日本提案のさきがけとして、国際標準化を実現し、国際標準審議の適正化と日本意見の反映に貢献したこと」
3. 西 美緒 氏 ('66 年・応用化学科卒、ソニー(株))
「リチウムイオン二次電池の商品化を指揮した業績」

< 2015 年度 >

1. 内田 健一 氏 ('08 年・物理情報工学科卒、東北大学金属材料研究所)
「スピンゼーベック効果の発見と熱電変換素子開発への先導的展開」
2. 鳥居 淳 氏 ('90 年・電気工学科卒、(株)ExaScaler)
「国産アクセラレータを用いたスーパーコンピュータの Suiren の開発に貢献、世界ランキング Green500 で 2 位を獲得したこと」
3. 佐々木 純 氏 ('83 年・電気工学科卒、新日鐵住金(株))
「米国に本拠を置く世界最大の規格標準化団体の一つである ASTM International での規格新設・改訂活動の業績から、2015 から ASTM 本部 Board of Directors に選出されたこと」

< 2015 年度 矢上賞 (起業支援) >

1. 渡辺 祐樹 氏 ('05 年・物理情報工学科卒、カラフル・ボード株式会社 代表取締役 CEO 兼 SENSY 人工知能研究所 代表)
2. 竹 康宏 氏 ('10 年・電子工学科卒、ドリコス株式会社 代表取締役)

3. 稲川 琢磨 氏（'13年・開放環境科学専攻修士課程修了、株式会社 WAKAZE 代表取締役社長）
4. 谷本 龍一 氏（'14年・生命情報学科卒、人工知能型ブックマークアプリ立案 チームメンバー）

< 2016 年度 >

1. 梶原 昭博 氏（'91年・電気工学専攻後期博士課程修了、北九州市立大学）
「電波応用工学の医療・介護、自動運転など幅広い分野への適用に関する研究開発」
2. 秩父 重英 氏（'86年・電気工学科卒、東北大学多元物質科学研究所）
「紫外線発光ダイオード材料の発光機構解明と時間・空間同時分解発光計測法の開発」に関する研究を通じた社会貢献」
3. 小林 慶行 氏（'86年・応用化学科卒、Daiichi Sankyo India Pharma）
「糖類をベースとした新薬の探索研究 - 長時間持続型抗インフルエンザ薬・イナビル®の創製とその開発 - 」
4. 有本 博一 氏（'88年・化学科卒、東北大学大学院生命科学研究科）
「生体防御機構解明と細菌感染症克服にむけた化学生物学的研究による貢献」

以 上